

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月28日

事業所名 療育支援エフ 有田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		教室間で人数の振り分け、タブレット利用による分散を行っている。	学習室が狭くなる事があるが、タブレット室と区別しうまく活用できている。
	2	職員の配置数は適切である	8		常に配置基準の人数よりも多く配置出来ている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	手すり、滑り止めを設置。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			日々のミーティングでどのように支援していくか話し合っているが、意味を理解し行っているかとは違う為、伝えていく必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		外部の意見がエフの療育の妨げになる場合もあると思うので必ずしも必要とは思わない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		研修会の周知、参加の呼びかけを行っている。 研修教材を活用し動画にて研修を行い、ミーティングの中で振り返りを行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			アセスメントツールは用いていないが日々のミーティングでの話し合いは出来ていると思われる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			紙ベースのカリキュラムの整理と仕分けを行っている途中であるが、うまく整理が済めば今以上に子供に応じたカリキュラムが素早く作れるようになると思う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		個々の成長を記録し、レベルの調整を行っている。常に職員間で共有を行い選定している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	休日長期休暇には平日の自由時間でできない事の立案実行。	特に長期休暇に関して何をするか細やかに決める事は出来ていないため、課題を設定立案する必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	平日は個別活動、休日は集団活動と分けて活動出来ている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎朝1時間～1時間半のミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	きちんとしたミーティングは午前中に行うため終了後には行っていないが、その日あった事を全員で話し共有出来ている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		該当者なし 受け入れる場合は必ず保護者様へ相談の上主治医と連絡体制を整えいつでも相談できる状況を作る。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		利用していた保育園との連携はないが、保護者の方からの情報提供を受けている。
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1		該当者なし 就労移行、就労支援A型B型へ移行する場合は担当者会議を行い、それまでの支援内容等の情報共有を提供したい。
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		
	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2		
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		日々LINEや連絡ノート、送迎時に様子を伝えている。保護者様からは家庭での様子を共有していただいている。	
保護者への説明責任等	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		LINEにて有効だった対応の共有に努めている。	
	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			
	個人情報に十分注意している	8			
	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		研修はしていないが虐待防止等については日々職員同士で心がけている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			保護者を通し情報共有を行っている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月28日

事業所名 療育支援エフ 野方教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			学習スペースと遊ぶスペースを意識して離している。
	2	職員の配置数は適切である	3			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1		実施されているか分からぬ。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	2		今後動画での研修を導入予定
業務改善	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			タブレットのレベルは本人に応じて変わり、カリキュラムも変更している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		よりい細やかな課題設定をしていきたいと考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		長期休暇や繁忙期はミーティングが出来ていない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			職員間で記録の有無を共有
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	1	2		複数を組み合わせているかどうか分からぬ。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1			該当者がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		3		あまり情報共有出来ていないように感じる
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				該当者がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている		2		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2		重度アレルギーの生徒がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			

放課後等ディサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月28日

事業所名 療育支援エフ 今宿教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2		利用者数が少ない曜日がある
	2	職員の配置数は適切である	8			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		8		段差がある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3		・まだ改善できる余地があると思う。空き時間の有効な活用方法があると思う。 ・ミーティングの際に様子を確認しカリキュラムについて話し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2		
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成している	6	2	カリキュラムを適切に出せるよう、職員同士の共有	もっとニーズに応えられるよう改善していくたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		カリキュラムの見直し 行事工程の確認
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1		長期休暇中に制作活動を増やしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成している	6	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		翌日のミーティングで支援の振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	2		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	3		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	6		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っている	3	4		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	6		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	4		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月28日

事業所名 痢育支援エフ 石丸教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	スペースを最大限に活用し、職員配置も声掛けをしあって業務にあたっている。	ひとりで落ち着けるようなスペースが欲しいと感じる事がある。
	2 職員の配置数は適切である	5	2	カリキュラム、タブレットをじっくりと取り組むには増員が必要	人数は足りているが、たまに児童の数と職員の数(配置)が一つの部屋に偏る事があるため職員で共有を行いたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	ロッカー等の角にはコーナーカッションを貼るなどし安全面に配慮。視覚指示が出来るよう各所に掲示物を設置。	現在該当者はいないが、玄関の段差とトイレまでが車いすまでは通れない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	・午前中にミーティングを行っている。 ・毎日のミーティングと月数回のエリアミーティングにて取り組んでいる	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	4		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3	研修動画を用いて、資質の向上と支援の一一本化に努めている	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	3		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	子どもに応じたカリキュラムを作成するためにミーティングで話し合い文章化した。	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	各事業所にて行っている。 話し合いは出来ている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3	・日々の支援の中で情報等を収集し、個々の課題を決めている。 ・その時々の児童の様子を見て職員の共通理解を話している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	3	3		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		翌日午前中に行っている。 ミーティング、もしくはその時に共通理解、伝達を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	3		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	3		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	3		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	保護者との連携を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4		保護者と相談員と3者で行っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	個人ファイルにいただいた情報をとしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	3	利用時の様子を保護者様へ連絡し、ご家庭での様子や課題についても共有している。送迎時にも様子を伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	問題があった際に良いアプローチ方法があれば保護者様へも共有している。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	3	職員で共有を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	月ごとに行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	6	1	個人情報が入っている不要書類はシュレッダーで廃棄。個人情報が入っている書類は持ち帰り厳禁。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	3		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4	マニュアルの整備、周知	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		訓練後には反省点、改善点をしっかりと振り返る必要がある。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	4	児童への対応、トラブルの解決法を職員間で話し合っている。	外部の研修も含め機会を作る
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	・保護者様から十分に情報を頂いている。 ・個々のアレルギーの有無を職員間で情報共有している。 ・医師の指示書ではなく、保護者様からの情報。全員の食後の手洗いや食べこぼしの掃除の徹底。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月28日

事業所名 療育支援エフ 室見教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2		
	2 職員の配置数は適切である	6	2		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	3	利用者が廊下等で滑らないようにマットを敷くなどの対策は行っている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	ミーティングを毎日行い、共有に努めている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
適切な支援の提供	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	教室内では無料の研修や講習会の室内を行っている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	ミーティングの中で立案し共有している	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6			
適切な支援の提供	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割割りについて確認している	10		毎朝ミーティングを行い、前日の利用者の様子や当日の流れを確認している。重要なことはすぐに情報共有するよう努めている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		毎日利用者ごとに記録を残している。	
適切な支援の提供	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3			

		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		6		時間割を確認させていただくなどし、把握に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	1		通常の状態での医療ケアが必要な利用者はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		1	1		該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		9		保護者とはラインを活用し連絡を取っており、教室・家庭での様子を共有している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		1	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		3			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			2		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		10			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		8		毎月発行	
	35	個人情報に十分注意している		10			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている		4		LINEでのお知らせも行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		玄関先の見やすい位置に常に掲示	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			